

学校教育目標 **自ら伸びる**

府中町教育の願い
ともに学び 今も未来も幸せに「暮らしたい」

学校経営理念 「学校（地域）は子どもが育つ土壌である」

学校は人の集まる場所です。子どもも大人も成長し、育っていく場所です。人は環境に影響を受けながら、人との関わりの中で育ちつつ、自分で自分を創っていくものです。

小学校は、人間として成長していく確かな根っこ（基礎基本）を育てるところです。たとえば、植物の成長に必要な土壌です。土壌を柔らかく耕し、新しい空気を入れ、適度な水分や養分、温度があれば、植物はしっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせます。**しっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせる子どもは「発達の当事者」であり、今を生きる人間として敬意をはらうべき存在**です。

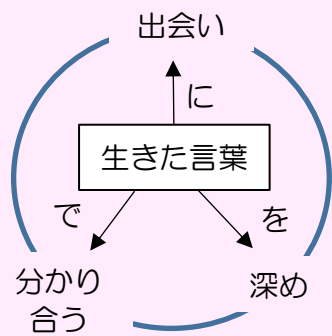
本校は、一人一人の子どもに発達の可能性を見出しながら、その子の根っこを太らせていく教育を追求します。教育活動の中にあらわれている子どもの姿をどう見ているのか、「しっかりと根を張り、成長し、やがて自分の花を咲かせる子どもは『発達の当事者』であり、今を生きる人間として敬意をはらうべき存在」という本校の子ども観に照らして**問い直し**ながら、地域にある学校としての使命を果たしましょう。

「問い直し」を大切にして
 教育活動に**山場**を創り
 「**生きた言葉**」で自覚化して
 他者と**関わり**協力して
 乗り越えていく



【教師こそ最大の教育環境】 学級経営力・授業力・自己認識力・**心理的安全性の確保**
 ～日々の暮らしをつくる子どもをみつめる“まなざし”の研鑽～

「問い直し」のサイクル
 【学びの型】



「生きた言葉」で暮らしを創る【はちの子の心得】

学校教育目標「自ら伸びる」	
学年経営	4・5月 どのような 学級 をめざし、それを自分たちはどう創るか？ 6・7月 どのような 授業 をめざし、それを自分たちはどう創るか？
学級経営 学級目標	9・10月 どのような 学年 をめざし、それを自分たちはどう創るか？ 11・12月 どのような 学び の姿をめざし、それを自分たちはどう創るか？
	1・2・3月 次の年にはどんな 学級・学年 をめざし、それを自分たちはどう創るか？

「じまんの俳句」で学級を創る

<ねらいたい資質・能力>

<p>知識及び技能 場や相手に応じて適切な言葉や考えを選択していく。</p>	<p>思考力・判断力・表現力 他者との関わりの中で、自分の言葉を深め、自分の思いや考えを問い直し、「生きた言葉」で表現していく。</p>	<p>学びに向かう力・人間性 他者との関わりの中で、自己認識力を高め、より良い自分を求め考えていく。</p>
---	--	---

<研究主題>

「自ら伸びる」意思を形成する学びの創造
 ～協働的な学びと個別最適な学びの一体化をめざして～

コミュニティ・スクールの願い

「**ともに学び**」大人も子どもも **Happyに!**



子どもが育つ土壌をつくらう!